

## 空席でいいのか、副市長

～同意あれば、再提案～



しょうのてるお  
生野 照 雄

**質**

本市の組織力の強化と市民生活の向上を図るため、市長を支えるトップマネジメントを早急に人事すべきではありません。また、副市長不在で対外的な支障はないのか。

**答**

市長

副市長の選任は重要であると考え、平成25年7月の臨時議会に提案したところ、残念ながら否決され、不在のまま今日に至っている状況です。



副市長不在の中で、全般的な行政課題について私がリーダーシップをとる中で、課長を中心として各課で当該行政課題に対応しています。対外的な支障は現在のところ確認されてい

ませんが、本市の重要課題を早急に解決へと導くためには、副市長の存在が重要であります。同意があれば、提案申し上げた人物を、今会期中にでも再提案したいと考えます。

## どうなる職員体制

～適切な行政運営に取り組む～

**質**

本市は職員数の適正化を図るため、人件費の抑制や退職勧奨の強化、一般職3名採用を継続しているが、将来、複雑多様化する行政課題に対応できるのか。

**答**

総務課長

経歴10年以内の職員数が全職員の7・7%となり、若年層の職員比率が低く全体的に年齢構成が逆ピラミッド型になっている現状です。

行政改革を進める中で、直ちに採用枠を拡大し、これを解消することは困難なことから、平成26年度で計画期間が満了する第2期集中改革プランに続く、次期集中改革プラン策定時において、今後の採用人数を含め、十分検討していきます。

※ 集中改革プラン＝地方公共団体が行政改革の具体的な取り組みを集中的に実施するために策定した計画。



や 竜 哉  
たつ 竜 哉  
とう 藤 衛  
え 衛 藤

## 宿泊のできる公共施設を もっと活用できないか

～可能なものは施設の利用度を高める～

**質**

市内にある公共施設、特に宿泊のできる6施設（緒方町の祖母山麓尾平青少年旅行村、清川町の御獄山緑地等研修センター、奥嶽川自然公園井崎河川キャンプ場、大野町のふるさと体験村、犬飼町の三ノ岳なかよしパーク、リバーパーク犬飼）について、行財政改革の見直しの中、指定管理に出し、さらなる活用ができないか。

**答**  
市長

たとえ公の施設といえども、宿泊施設の経営としては維持管理費に見合う収入を得ることが基本であると考えます。  
行政改革集中改革プランによる公共施設の見直しにおいて「指定管理」または「廃止・売却」の方針を公表し

ており、今後も引き続き見直しの方針に基づき取り組みを強化していきます。  
今後の利活用は、現状で取り組みが可能なものは、関係機関・団体などにPRなどを行い、施設の利用度を高めていきます。



井崎河川キャンプ場



ふるさと体験村

**質**

農林水産省から「食のモデル構築計画」総合型で、全国33地域の一つに認定された。

## 「食のモデル・6次化」<sup>\*</sup>に対応できるか

～事業をうまくつなぎ、チャンスを生かしたい～

**答**

商工観光課 参事

市内の加工所などを活用し、「6次化により自立する豊後大野市」を目指すというが、働く人の高齢化や後継者不足で多くの加工所は数年前より半分ほどになっっている。  
大きな取り組みの前に、加工所で働く人の拡大、研修など受け皿を見直す必要があるのではないか。

加工所の設置状況は、正確な数値は把握できていませんが、約24施設が確認されています。  
「食のモデル地域育成事業」を推進するに当たり、「おおいた豊後大野食のモデル地域実行コンソーシアム」を組織し、実行体制を整え人材育成活動にも力を入れる計画です。

また、加工現場における人材育成や現場をつなぎ全体をコーディネートできる人材の育成確保にも力を入れています。

※ 6次化=食による地域の活性化と農産物の加工や販売流通の促進により農産物の消費を拡大すること。  
※ コンソーシアム=協会。組合。特定の目的のために集まった企業連合。